

ECOC

発表者:伊熊 雄一郎

1. 会議の概要

- 名称:
33rd European Conference and Exhibition on Optical Communication
- 主催／共催機関:
 - ・VDE – Association for Electrical, Electronic & Information Technologies
 - ・ITG – Information Technology Society within VDE
- 開催場所:
Internationales Congress Centrum Berlin
- 日時:
16-20 Sep. 2007
- 発表件数:
 - Oral: 282件
 - Poster: 140件
- 概要:
ヨーロッパにおける光通信に関する最大の会議であり、今回で33回目となる。今回からブロードバンド・アクセス、ローカルエリア・ネットワークを扱う分科を新たに設けた。分科は以下の通りである。
 1. Fibres, Fibre Devices and Amplifiers
 2. Waveguide and Optoelectronic Devices
 3. Subsystems and Network Elements for Optical Networks
 4. Transmission Systems
 5. Backbone and Core Networks
 6. Access and Local Area Networks

2. 発表内容

- 伊熊 雄一郎 (*Yuichiro Ikuma*)
Title: "Small Helical Reflective Arrayed-Waveguide Grating with Integrated Loop Mirrors"

反響と感想:

導波路ループミラーを用いたAWGの縮小について、ポスター・セッションで発表を行った。質問が多かったのは、深溝の製造プロセス、偏波依存特性の改善方法、本デバイスの応用先についてなど。回路が見た目に珍しいものであるためか、次から次へと説明を求められ、緊張の2時間半となった。初めての海外渡航でもあったため会期中終始気を抜くことが出来なかったが、良い経験となった。